



HONOBONO

2020
9月号
vol.405

情けは人の為ならず

75年前の1945年8月15日を境に、日本ではそれ以前を「戦前」、それ以後を「戦後」と呼んでいます。なぜそう呼ぶのか。それは終戦を境に軍国主義から民主主義を基調とする平和国家に変貌し、それに伴って多くの場面で価値観（考え方）が大きく変わったからです。

終戦後の混乱期に小学生時代を過ごした作詞家の阿久悠は、「悪さをした子どもを（戦前の感覚で）叩こうとした先生が、生徒から『先生、今は民主主義だよ』と言われ、振り上げた手が行き場を失って宙に漂っていた」と何かの本に書いていました。教師の体罰が問題視されている現在を彷彿させるエピソードです。

しかし、この程度のエピソードなら可愛いものです。戦後の広島を舞台にした井伏鱒二の『黒い雨』には、ストーリーの傍流に、原爆の被爆者がいわれない差別を受けていたことが淡々としたタッチで描かれています。現実には、広島でも長崎でも、被爆者が激しい差別に苦しんだことがさまざまな記録に残されています。

このエピソードはコロナ感染者への苛烈なバッシングと重なります。感染者だけでなく、医療従事者にまでその矛先が向けられているのですから、言いようのない“人間の心の闇”

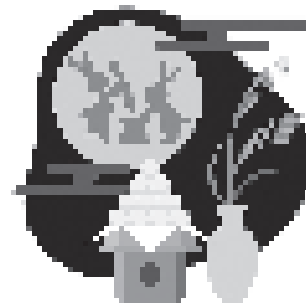
を感じます。

日本には「情けは人の為ならず」という格言があります。「急がば回れ」とともに間違った解釈をする人が多い格言ですが、これは人に情けをかけることは、かけた相手のためというだけではなく、かけた情けが良い報いとなって自分に還ってくる。だから、自分のためにも人には情けをかけよという意味です。憐れみの心が見事に表現された格言です。

この格言に隠されているのは「支え合い、共に生きる」という理念ではないでしょうか。

コロナが収束したあとには、良くも悪くも多くの場面で「コロナ前」とは違う様相が現れるでしょう。人類はこの空前のウイルス感染禍をどう受け止め、何を学ぶのでしょうか。

願わくば、「支え合い、共に生きる」という理念が人類の叡智として定着してほしいものです。



福祉時報 介護老人保健施設「いきいき荘」について

介護老人保健施設いきいき荘では、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために、医師による医学的管理のもと、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学療法士などによるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供する施設です。

利用者様一人ひとりの状態や目標に合わせたケアサービスを、医師をはじめとする専門スタッフが行い、夜間でも安心できる体制を整えています。

施設の入所相談時や契約時には提供されるサービス、利用期間の目安、今後の退所先などについて、入所の段階からお話をしていきます。いきいき荘の入所がゴールではなく、その先に自宅に帰ることができるか、本人様の精神状況・身体状況、介護力、経済事情などを踏まえ本人様やご家族様と一緒に考えていきます。

入所して3カ月はリハビリを集中的に行い、利用者様ご

とに目標を設定し取り組んでいきます。そのなかには、はじめは自宅に帰ることができると思わなかったご家族様が、リハビリの成果により、残された時間を元気なうちに家で少しでも一緒に過ごしたいと考え直されたケースもあります。どうしても自宅が難しい場合は、本人様やご家族様の要望に沿った施設（ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅や特別養護老人ホームなど）の紹介もしています。いきいき荘を通過点とした、退所の支援ができることが職員モチベーションともなっています。施設利用を通じて、入所前より少しでも元気になってもらうことはもちろんのこと、利用者様やご家族様の抱える困難については、どういったアプローチが解決の糸口になるか、既存の制度やサービス、枠組みに簡単に当てはまらないケースもありますが、一緒にあきらめずに考え、利用者様の今後の生活がより良いものになるよう支援していきたいと思えます。

ライトハートいきいき荘 主任支援相談員 岩崎 規子

篤志御礼 香川県共同募金会様

施設の見学は随時、承っております。お気軽にお越しください。また、電話やメールなどでもお問い合わせを受け付けております。各施設の電話番号、メールアドレスは本編に併記してあります。

障害福祉サービス事業所 **かりん園**

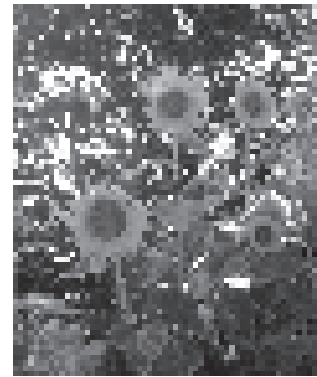
〒766-0023 香川県仲多度郡まんのう町吉野4300番地22
Tel. 0877-79-1230 Fax. 0877-79-1231
E-mail karin@utazufukushikai.or.jp

ヒマワリが咲いたよ！

天候不順で心配したけど

ゴールデンウィークにみんなで種まきをしたヒマワリが、かりん園の庭できれいな花を咲かせました。種を蒔いてからは、交代で水やりをしたり、草抜きをしながら大切に育てました。なかなか芽が出ず、「早く芽がでないかなぁ」と待ち遠しく観察したり、雨が長く続いた時期は、根から腐ってしまうので

はないか心配になったりと、日々の成長を楽しみに過ごしました。長雨にも負けず、黄色い大きな花を咲かせたヒマワリを見ると、自然と気持ちも明るくなります。今年は、昨年にも咲いたヒマワリの種に加え、黄色ではない多種多様な品種のヒマワリの種も蒔きました。同じ時期に蒔いたその種は、成長が早く一番に芽を出し、赤茶色の花を見事に咲かせています。まだまだ暑い日が続きますが、身近にあるさまざまな変化を楽しみながら、日々の活動に取り組んでいきたいと思っています。



まさしく大輪の花を咲かせましたね

生活支援員 加藤 普美

介護老人保健施設 **ライトハート いきいき荘**

〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁53番地1
Tel. 0877-49-7255 Fax. 0877-49-3334
E-mail ikiikiso@utazufukushikai.or.jp

今年は階ごとに独自のイベント

七夕会

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、毎年いきいき荘全体で行っていた七夕会を各階で別々に行うことになりました。

2階では利用者様と壁画作り。3階と5階では飾り付けを行い、利用者様と歌を歌って行事を楽しみました。

色とりどりの華やかな飾り付けを行っていくうちに、利用

様の顔もほころび、利用者様同士で昔の七夕の話をしたり、短冊の願い事を考えたりと徐々に活気が出てきました。

利用者様も飾り付けを手伝い、楽しく和やかな会になりました。大喜びの利用者様を見ると少しは気分転換になったのではないかと思います。

まだまだ新型コロナウイルス感染の終息が見えないなかですが、今後も施設では、少しでも利用者様に笑顔で安心して過ごしていただけるように取り組んでいきたいと思っています。



ウキウキした雰囲気が伝わってきますね

介護職員 由村 収

障害福祉サービス事業所 **さかいで** 障害児通所支援事業所

〒762-0003 香川県坂出市久米町一丁目518番地1
Tel. 0877-46-3088 Fax. 0877-46-3088
E-mail sakaide@utazufukushikai.or.jp

心も体もリフレッシュ

日中活動の充実を図って

さかいででは現在、日中活動をより充実させるため、利用者

様やご家族様の希望を取り入れながら、活動レパトリーの拡充を図っています。午前の活動で実施している軽運動では、一人ひとりに合わせて無理なく体を動かせるようにしています。

音楽に合わせての体操や、バランスボールなどの健康用具を活用した運動なども取り入れています。初めは参加を戸惑っていた利用者様も、体を動かすことでリフレッシュでき、いきいきとした表情や笑顔が見られるようになり、楽しい雰囲気なかで活動することができています。これからも、利用者様に活力のある日常を過ごしていただける「さかいで」を目指し、チャレンジしていきます。 生活支援員 秋山 知子



健康は積み重ねですね

障害者支援施設 **みとよ荘**

〒767-0021 香川県三豊市高瀬町佐股乙 443 番地 1
Tel. 0875-74-7829 Fax. 0875-74-7847
E-mail mitoyoso@utazufukushikai.or.jp

知識と行動は別

避難訓練

みとよ荘で夜間を想定した避難訓練を行いました。初期消火や通報の手順、誘導など知識はあるものの、実際に行動に移すと難しさを痛感するとともに、今後の課題が見えてきました。いつ起こるかかわからない火災や地震、豪雨といった災害が多い昨今、大切な命を守るための備えを十分行い、このよ

うな機会を大切に学んでいきたいと思います。

生活支援員 山路 章代



まずは消防署に通報

障害福祉サービス事業所 **エコランド鶴足津**

〒769-0224 香川県綾歌郡宇多津町平山 2628 番地 718
Tel. & Fax. 0877-41-0873
E-mail ecoland@utazufukushikai.or.jp

働く喜びを感じて

養護学校の生徒さんが現場実習

エコランド鶴足津に、養護学校の生徒さんが現場実習に来られました。卒業後の進路先を考えた実習とのことで、仕事へのイメージが持てるよう、うどん店舗での食器洗浄や清掃、エコランド製品のラベル貼りなど、さまざまな作業に取り組んでいただきました。

最初は、少し緊張した様子でしたが、日数を重ねていくうちに、他の利用者様と協力して作業ができるようになってきたり、休憩時間を一緒に過ごしたりと、周りに馴染んでいきました。

実習生さんの「やってみたいです！」と前向きに作業に取り組む姿勢や、最初は難しかった作業にも何度も挑戦し、できた時の喜ぶ姿は、利用者様、職員共に、とてもよい刺激になりました。

後日、実習生さんから、現場実習のお礼状が届きました。丁寧な御礼の言葉と、「作業が楽しかった」ということが書いてあり、働く喜びをエコランド鶴足津で感じていただけたことを嬉しく思いました。

これからも地域のなかで、利用者様と共に、楽しみながら、笑顔で作業に取り組んでいきたいと思っています。

生活支援員 大川 美香

特別養護老人ホーム **今津荘**

〒763-0051 香川県丸亀市今津町 186 番地 1
Tel. 0877-58-2611 Fax. 0877-21-2007
E-mail imazuso@utazufukushikai.or.jp

短冊に願いを込めて

七夕

今年も短冊に願いを込めて書きました。



笹飾りに願いを込めて

「コロナの終息」「みんなの健康」……短冊に書かれた願い事には自分のことより周りへの気遣いが多く、感動しました。かわいらしい笹ですが、想いが届くといいなあと思います。

昼食のメニューは、そうめんと七夕ゼリーでした。また、土用の丑の日にはウナギと、夏の風物詩として、見た目にも楽しんで、味わっていただけたのではないかと思います。

新型コロナ感染対策のため、ご家族様との面会もままならない日々が続いていますが、施設の中だけでも季節を感じていただけるように、工夫して取り組んでいきたいと思っています。

介護職員 吉田 里美



美味しいよ

ケアハウスマイルドハート 丸亀

〒763-0051 香川県丸亀市今津町219番地2
Tel. 0877-21-5200 Fax. 0877-21-5282
E-mail mildma@utazufukushikai.or.jp

コロナが早く治まりますように

七夕飾り

今年も七夕の季節に食堂で飾り付けを行いました。「いつまでも健康でありますように」「皆が笑顔で過ごせますように」といった願い事のなかに、今年は「コロナが早く収まりますように」と書いた方が何人もいました。新型コロナウイルスの影響で、県外のご家族様と会えない方や趣味の旅行に行けない方など、それぞれの事情で切に願いが綴られていました。一

刻も早く新型コロナウイルスが終息することを祈っています。

また、7月7日は昼食のデザートに七夕のゼリーが付きましたが、ゼリーの蓋に七夕に関する豆知識が載っており、その中に「笹竹を立てるのは



これは楽しい七夕ゼリーですね

なぜ？」というクイズがありました。意外と知っている方はおらず、正解は笹のすれ合う音は神様を招くと考えられ、ご先祖様の霊が降りてくるようにと始められたそうです。ささやかですが、今年は例年とは違う楽しみ方で七夕を過ごしました。来年は新型コロナウイルスなどを気にせず、皆が安心して元気に過ごせたら良いですね。 副主任生活相談員 水本 伸一

特別養護老人ホーム 寿楽荘

〒769-0210 香川県綾歌郡宇多津町170番地1
Tel. 0877-49-3388 Fax. 0877-49-3389
E-mail jurakuso@utazufukushikai.or.jp

美容師さんとの会話も新鮮

訪問散髪

寿楽荘では、毎月訪問散髪があります。散髪に意欲的な利用者様もいれば、「私は、今日はええわ」と意欲的でない方もいます。しかし、散髪を終えると「気持ちよかったわ」「また頼むわ」と笑顔が見られ、その笑顔に職員も元気づけられています。あまり外部の方と接触する機会がない利用者様にとって、美容師さんとの会話は新鮮なようで、普段とは違った顔

を見ることができます。

これからは訪問散髪を通じて、少しでも気分転換をしていただけたら幸いです。 介護職員 松尾 拓実



やっぱり気持ちええわ

サービス付き高齢者向け住宅 アゼリア今津

〒763-0055 香川県丸亀市新田町172番地1
Tel. & Fax. 0877-85-8383
E-mail az-imazu@utazufukushikai.or.jp

願い事が叶いますように

七夕飾り



私たちの共同作業です！

七夕当日はあいにくの天気でしたが、今年もまた七夕飾りを皆で作りました。

入居者様一人ひとりが願い事を短冊に書き、笹の葉と壁飾りに展示しました。「元気で過ごせますように」「幸せでいられますように」とさまざまな願いを込めて七夕飾りを作りました。なかにはこんなことを思っていたんだと職員が驚くような願い事もありました。皆様がにこやかに書いていたことがとても印象的でした。来年は天の川を見られますように！

介護職員 島田 佳代



笹の葉の前でピース！

障害者支援施設 土器川タウン

〒763-0092 香川県丸亀市川西町南207番地3
Tel. 0877-58-7757 Fax. 0877-28-2627
E-mail doki@utazufukushikai.or.jp

元気に過ごせますように

七夕会

7月5日、七夕会を開催しました。

笹にいろいろな飾り付けをし、色とりどりの短冊に願い事を書きました。願い事には、「外出・外泊ができるようになりますように」「元気に過ごせますように」という願いが、たくさん書かれていました。

おやつレクでは、杏仁ゼリーを皆で作って、食べました。可

愛くてとても美味しいと、皆様大変喜んでいました。

皆様の願いが叶いますように。生活支援員 横山 幸一



願いが叶いますように

高齢者ショートステイ マイルドハート西荻

〒167-0042 東京都杉並区西荻北一丁目19番9号
Tel. 03-3390-2831 Fax. 03-3390-3022
E-mail mildnishiogi@utazufukushikai.or.jp

それぞれの願いを込めて

七夕

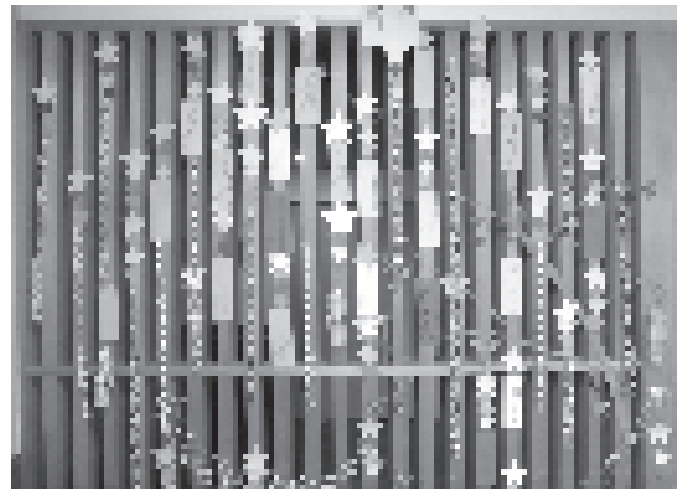
職員が作った竹の切り絵を貼り、利用者の皆様が輪をつなげて作った飾りと星を飾り、それぞれの願いを短冊に書きました。

入居者様の短冊にはお母様と仲良く一緒に過ごしたいという願いや奥様と旅行に行きたいという願い、愛犬とずっと一緒にいたいという願い、天寿を全うしたいという願いなどのほか、私たち職員への感謝の気持ちも綴られていました。

みんなで楽しく賑やかに作ったり、飾ったりしました。皆様

の願いが叶いますように。そして皆様の想いが届きますように。

介護職員 須崎 敦子



皆様の願いが叶いますように

ケアハウスマイルドハート 21

〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁53番地9
Tel. 0877-49-9111 Fax. 0877-49-9113
E-mail mild21@utazufukushikai.or.jp

アマビエ様にもお願い

七夕飾り

新型コロナウイルスの流行で当施設でも、利用者の皆様には外出の自粛をお願いしたり、ご家族様にも面会を控えていただくようお願いしています。今年は、例年より梅雨の時期も長いので、いつになく季節も気持ちもどんよりとした7月を迎えました。

そんななか「今年は七夕さんの飾り付けせんのか？」退屈に過ごしている利用者様やそれを心配する職員から声が上がりました。早速、笹を調達し皆様に短冊に願い事を書いてもらいました。笹はあっという間に、ご自身やご家族様の健康、待ち人との再会などさまざまな願い事でいっぱいになりました。

最後に、疫病を治めるといわれる「妖怪アマビエ様」を折り紙で作って、飾り付けました。

「コロナが収まって、早く外出できるようになりますように……」

皆様の願いが天の川まで届きますように。

介護職員 森友 明日香



折り紙で作ったアマビエ様がやってくれそうです

ケアハウスマイルドハート 坂出

〒762-0005 香川県坂出市横津町三丁目2番11号
Tel. 0877-44-5255 Fax. 0877-44-5266
E-mail mildsa@utazufukushikai.or.jp

伝えていきますか

「ありがとう」という言葉

いつもお世話になっている講師の先生から素敵な言葉をいただきました。

家族に「ありがとう」という言葉を伝えていますか？
「ありがとう」には、3つの考え方があります。

1つ目の「ありがとう」は、自分に何かをしてくれたことに対してのお礼、つまり、「物を取ってもらってありがとう」「手伝ってもらってありがとう」という「ありがとう」。

2つ目の「ありがとう」は、現状維持に対しての「ありがとう」。愚痴や不満、「だって」「でも」という言葉が出ることで

現状を感謝できない。災害で家族を亡くし、家を失くした人がたくさんいらっしゃいます。今、普通に過ごせることに「ありがとう」ではないでしょうか。普通に過ごせて「ありがとう」。

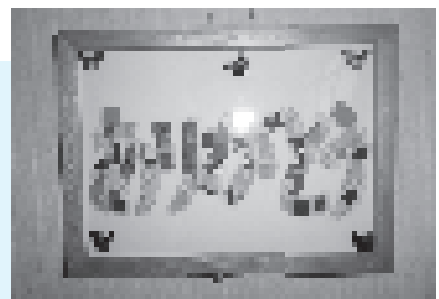
3つ目の「ありがとう」は、すべてのことに「ありがとう」です。不幸だと思うことや、辛いことでも気持ちを切り替えて、いい方向に考えることで、すべてのことに「ありがとう」という気持ちを持つことです。事故にあったとします。でも傷もなく助かりました。「ありがとう」ですよ。

まずは身近な人に言葉で「ありがとう」を伝えてください。

このお話をデイの利用者様に伝えたところ、「ああ、ありがとう！って言えてないわあ」「ほんまやなあ、ありがとうって大事やなあ」「もうちょっとありがとうって言おう！」など、いろいろな言葉が聞かれました。

コロナ禍でいつもとちがう生活を強いられて気分的にしんどい時期ではありますが、「ありがとう」の言葉で少しでも皆様の気持ちに余裕ができたらいいなと思います。コロナが収まり早く講師の先生に来ていただけるよう職員、利用者様一同、心待ちにしています。

生活指導員 佐藤 美保子



多くの人に伝えましょう。「ありがとう」を

特別養護老人ホームマイルドハート高円寺 ほのぼの

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北一丁目28-1
Tel. 03-5345-5981 Fax. 03-5345-9960
E-mail honobono@utazufukushikai.or.jp

細心の感染防止対策

ショートステイ再開

マイルドハート高円寺では、都内での新型コロナウイルスの感染拡大を受け、4月下旬からショートステイの受け入れを一時中止していましたが、杉並区内特養との足並みを揃えるべく、6月16日から制限付きでの受け入れを開始しました。受け入れ再開にあたり、細心の注意を払い感染防止対策に努めています。主な対策を以下にまとめました。

<感染防止対策>

- ・ソーシャルディスタンスの徹底（対面を避け、間隔を空けての着席）
- ・居室以外でのマスク着用の声かけ
- ・定期的な手洗い・消毒の徹底
- ・1日3回の検温。発熱時や、体調不良時（コロナに似た症状）は、利用中断にてお迎えを依頼
- ・利用2日前からの検温依頼。更に前日には電話での体調確認
- ・お迎え時の検温。発熱時の利用中止
- ・入退所時は施設玄関ではなく、通用口からの出入りとし、他

フロアの入居者様・職員との接触を避ける

いざ、ショートステイが再開すると、利用者様からは「早く来たかった！」「会いたかったよ、ありがとう！」などのお言葉を頂き、利用者様の笑顔や元気な姿を見ることができ、大変嬉しく感じています。利用中も将棋や塗り絵に夢中の方や、相手との距離を保ちつつマイクを使用しないでカラオケをする方、談話をする方など、普段との違いに戸惑いながらも楽しく過ごしています。

この先も気を緩めず、状況に応じた感染予防対策を講じ、いつも通りに楽しく安心して過ごしてもらえるように、最善のケアとサービスを提供したいと思います。

新館 フロアリーダー 岡本 裕己



きっちりソーシャルディスタンス

障害者支援施設 マイルドハート高円寺 なでしこ

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北一丁目28-1
Tel. 03-5345-6740 Fax. 03-3388-5279
E-mail nadesico@utazufukushikai.or.jp

毎年恒例BBQだ！

夏の入所食事に

毎年恒例のバーベキュー食事を今年も行いました。

今年はコロナ禍のなか、ご家族様の参加は見送らせていただき、利用者様のみでの開催となりました。当日は梅雨真っ只中の天気予報と天候を見比べながら「GO」の判断を下し、一斉に屋上にテーブルをセット、必要な物品を運び、皆様の期待も高まるばかりでした。準備が整い、いざ利用者様と一緒に屋上に上がろうとすると、屋上で待機している職員から「雨が降ってきた」との知らせが……とても残念です。



屋内でもBBQは楽しいですね

そこで、急遽、屋内活動スペースに場所を変更してスタートしました。今回のバーベキューも「野菜、お肉、目玉焼き付き焼きそば」など定番メニューではありますが、普段とは違う雰囲気の中で始まった食事は、大いに盛り上がりました。

皆様がモリモリと笑顔で食べる姿は実に微笑ましく、職員も利用者様の笑顔が励みとなり、終始笑いに包まれた楽しい時間を共に過ごしました。

この大変な時勢のなか、何よりも安全・安心に無事開催できたことを喜ぶとともに、これからもさまざまな行事をみんなで楽しんでいきたいと思います。 生活支援員 鶴田 一行



障害福祉サービス事業所 Uサポート高松 障害児通所支援事業所

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地7
Tel. & Fax. 087-899-8488
E-mail usupport-takamatsu@utazufukushikai.or.jp

情報共有の大切さを学ぶ

現場実習担当者を経験して

7月6日から17日までの約2週間、香川県立香川中部養護学校の高等部3年生2名を就労継続支援B型の現場実習生として迎えました。新型コロナウイルス感染防止のために、マスク・消毒・換気などの予防策を徹底して行いました。

担当するのは、入職2年目の職員2名です。実習生を迎える前に、担当職員同士でミーティングを行い、事前に準備すべきことを明確にしました。実習生2名は、電気メーターの解体に興味を持ち、熱心に取り組んでいました。分からないことがあったり、失敗をしたときなど、職員にすぐ質問をし、職員がそのつど支援を行い、順調に実習が進みました。一方、反省点や課題も明らかになりました。一つ目は、職員間での細かい情報共有が不足し、事前の準備をスムーズに行うことが

できていなかったことです。二つ目は、実習生の取り組んでいる作業を、より効率よく行える環境を準備しきれていなかったことです。

実習を通し、情報共有と効率よく作業ができる環境を整えることの重要性を学びました。今後は、職員同士で情報共有を密に行い、利用者様がより作業しやすい環境を作っていきたいと思います。 生活支援員 徳田 智



お、初めてにしては上手いね

養護老人ホーム 土器川荘

〒763-0092 香川県丸亀市川西町南207番地3
Tel. 0877-58-6210 Fax. 0877-58-6211
E-mail dokisou@utazufukushikai.or.jp

おやつに願いを込めて

七夕

毎年七夕には、立派な笹に入所者の皆様で作った飾りや短冊を飾り付けるのが土器川荘では恒例となっていますが、今年は「美味しい物も食べたい」とのリクエストを受けて、生きがいクラブで七夕ゼリー作りを企画しました。

型抜きでゼリーの星を作って「かわいい」と笑顔でパクリ。「食べやすく美味しい!」「願い事をしながら食べるゼリーも面白くていいね」「もう一回作って食べたい」などの感想があ

り、職員もとても嬉しくなりました。

暑い日が続きますが、入所様が日々健康で楽しく過ごせますように……それが職員の願いです。

支援員 谷光 愛美



願いを込めていただきます



フルーツたっぷり

障害者支援施設 高瀬荘

〒767-0021 香川県三豊市高瀬町佐股乙425番地3
Tel. 0875-74-7811 Fax. 0875-74-7818
E-mail takaseso@utazufukushikai.or.jp

ゆっくりとした時間のなかで

アート・ビビット活動

アート・ビビット班は、2カ所の活動部屋に分かれ、利用者様それぞれに合った活動を行っています。

リサイクル活動は主に簡単なパーツの分解を行っており、男性利用者様が多く取り組んでいます。準備を行う際は今日はどれをしようかなと選び、活動時間中、黙々と取り組んでいます。

す。

編み物や塗り絵を行う活動部屋では女性利用者様が多く、季節ごとの塗り絵や折り紙を折り、それを貼りつけて、毎月のカレンダーの作成などを行っています。



防護メガネをつけて、リサイクル活動をがんばっています

ともにゆっくりとした時間のなかで、皆様意欲的に取り組んでいます。また体操なども毎日行っていますが、今後は体を動かす運動をより多く取り入れ、楽しく元気に過ごすことができるように心がけていきたいと思っています。

生活支援員 大西 智久

御礼

香川県共同募金会様から助成金

このたび香川県共同募金会様から令和2年度助成事業の助成金をいただき、送迎用車両整備としてキャラバン（10人乗り）1台を整備することができました。今後、利用者様の送迎や外出行事などに活用していきます。ここに御礼とご報告を申し上げます。

助成金で購入したキャラバン



編集後記

1923年9月1日午前11時58分に発生した関東大震災の犠牲者は10万5,000人以上。この惨事を教訓として1960年に制定されたのが9月1日の防災の日です。頻発する大洪水や巨大台風、集中豪雨などに新たに加わった新型コロナウイルス感染症禍、そしていつ起こるかわからない、というかいつ起こってもおかしくない南海トラフ巨大地震。私たちは人類史のなかでも大変な時代に生きているのかも。 鵜足津福祉会本部『ほのぼの』編集局

ほのぼの2020年9月号 vol.405

令和2年9月発行

発行人 小松 守

発行 社会福祉法人 鵜足津福祉会

〒769-0205

香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁53番地11

Tel. 0877-49-4172 Fax. 0877-49-4108

URL <https://www.utazufukushikai.or.jp/>

E-mail honbu@utazufukushikai.or.jp

印刷 株式会社 中誠堂